

標記會社ノ労働爭議ハ會社側従業員同志會共ニ益ニ硬化シ容易ニ解決ノ曙光ノ模様ナリ寧ロ悪化ノ傾向アリタルヲ以テ大森警察署ニ於テ勞資間折衝斡旋ノ結果十八日急轉直下圓滿解決セルガ其ノ状況左記ノ通ニ有之

一、従業員同志會ノ動靜

(1) 二月十四日以来會長高原安則及幹事中西袋淡善ハ同志會本部ニ出頭セス同志間ニ兩名ハ會社側ニ買収セラレタリトノ風評アリ為テ顧問川端文夫ハ鉄工組合長原角一ト連絡ヲ執リ總同盟本部ヨリ池善ニ 並本席藏 林主順 井堀繁雄等ノ應援ヲ求メ會員ノ結束ヲ固メ組合員ノ擴大ニ努力シ有利解決ノ指道ヲナス所アリ

(2) 二月十五日正午頃精鋼課精整工場従業員同志會員渡辺要等ハ工場内示威運動ヲ計畫シ之レガ實行ニ移リタルモ警戒中

ノ大森署員ニ依リ直チニ防止セルモ同日ヨリ或分急業状態ニ陥リタリ

(3) 十六日午前七時二十分出勤セル前記精整工場従業員渡辺要 東海林徳之助 國谷長三郎 世原秀次郎 櫻井松五郎 鷲尾義一ノ六名ニ對シ會社側ハ出勤停止ヲ命シタルニ依リ直チニ同志會本部ニ引揚タルガ之ガ屢分發表ニ依リ同志會員ハ午前十一時迄ノ間九十三名ハ早退シ同志會本部ニ引揚ケ對策ヲ協議シ午後六時ヨリ羽田劇場ノ演説會ニ出席セリ

(4) 十七日正午製作課機械工場従業員一三〇名ハ正午ノサイレンヲ合図ニ喊聲ヲ挙ケテ工場外ニ出テ精機課ゲージ工場(兵器工場)ニ向ケ示威運動ヲ為シタルニ依リ之ヲ制止セル工務課長石原善雄當四十二年同課員川村正弥當三十一年ニ對シ暴行ヲ加ヘ兩名ニ對シ全治二日間ヲ要スル輕微ナル傷害ヲ加ヘ各工場ノ窓硝子等ヲ破壊セルモ警戒中ノ大森警察